同志社大学政策学部　風間ゼミ
村重彩夏　秋田菜摘　池田菜々子
柏崎里帆　鈴木悠理　永松野々花

官民協働の循環型コミュニティ備蓄



- 問題意識
- 現状分析
- 政策提言
- 展望



問題意識

災害大国日本

	避難者数
2018年6月 大阪北部地震	約5000人
2018年7月 西日本豪雨	約4万人
2018年9月 北海道胆振東部地震	約1万人
2019年8月 九州北部豪雨	約2300人
2019年10月 台風19号	約23万人

災害大国日本

避難者数

花折断層地震　マグニチュード 7.5

最大震度 7

災害大国日本

→常に備蓄がある必要性

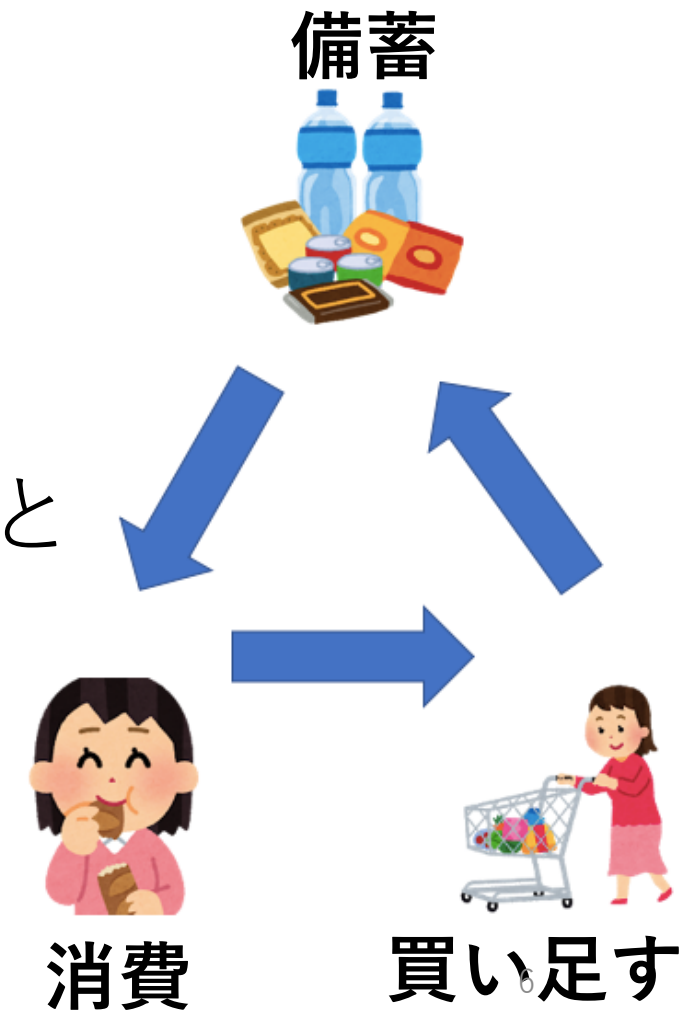
循環備蓄の重要性

循環備蓄：

①「**備蓄**」と「**消費**」を並行して行うこと

② 比較的**賞味期限の短い食品**を備蓄すること

ex)ツナ缶、サバ缶、ビスコ、クラッカー



公的備蓄と市民備蓄

備蓄

公的備蓄
- 行政が
発災から**1日分**を目途に提供するもの

市民備蓄
- 各家庭で自主的に
3日分以上の備蓄を蓄えること
- 「**災害備蓄の基本**」（京都市備蓄計画より）

循環備蓄はできていない　～　プレイベント アンケート調査より　～

Q.循環備蓄をしているか？

いいえ　92.3%

（風間ゼミ2019 アンケート調査 102名対象）

市民備蓄の循環はできていない



現状分析

公的備蓄の循環～京都府～

ヒアリング先

10月11日
京都府危機管理部

10月18日
京都市防災危機管理室

アルファ化米を配布・使用

- **地区の防災訓練**
- **京都サンガの試合会場**
- **小学校給食**



公的備蓄と市民備蓄の違い

公的備蓄	市民備蓄
定期的に非常時以外の 備蓄消費の場を設けることが **可能**	**個人**で非常時以外の 備蓄消費の場を設けることが **難しい**

コミュニティの必要性



政策提言

新しい備蓄の形

循環型コミュニティ備蓄

備蓄と消費を**地域コミュニティ**単位で循環させる方法

「コミュニティ」備蓄の効果

市民備蓄

- 賞味期限を忘れてしまう
- 買いなおすのが面倒くさい
- 個人で消費の場を設けるのが難しい

「コミュニティ」備蓄の効果

市民備蓄

- 賞味期限を共有するから忘れない！
- 買いなおすのが面倒くさい
- 個人で消費の場を設けるのが難しい

「コミュニティ」備蓄の効果

市民備蓄

- 賞味期限を共有するから忘れない！
- 地域で一括購入するため負担減！
- 個人で消費の場を設けるのが難しい

「コミュニティ」備蓄の効果

市民備蓄

- 賞味期限を共有するから忘れない！
- 地域で一括購入するため負担減！
- 地域で定期的に消費する場がある！

ビッグランチ

イギリスで実際に行われている大昼食会
地域コミュニティの活性化が実現される

eden project COMMUNITIES
the big lunch

In



循環型コミュニティ備蓄×ビッグランチ

非常食アレンジ料理

食を通じて防災を意識

×

イギリス発祥のビッグランチの利点

大人数で楽しく食事

地域住民と顔を合わせる
コミュニティを意識する

災害に強いまちづくり



プレイベント

プレイベント開催の目的

目的: ビッグランチ×非常食の効果が

実際に得られるかを確かめるため

- 美味しさ
- 楽しさ
- 地域のつながりが強まる

フィールドワーク

洋食とワインのお店 土筆苑 IN 兵庫県西宮市

大谷 隆史シェフ

［非常食アレンジメント］

before



after





プレイベント

12月4日

室町小学校

学生22名 ＋ 地域住民25名 ＝ **47名**

»» **102名**

12月6日

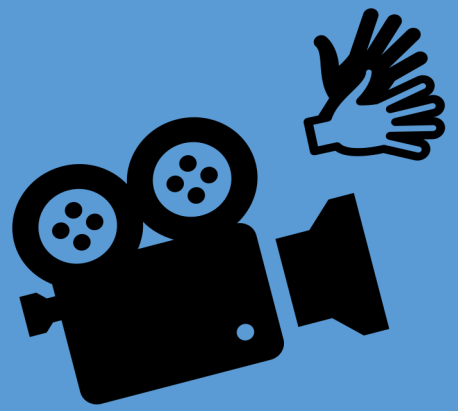
特別養護老人ホーム寿幸苑

地域住民**55名**



問題意識 | 現状分析 | プレイベント | 展望

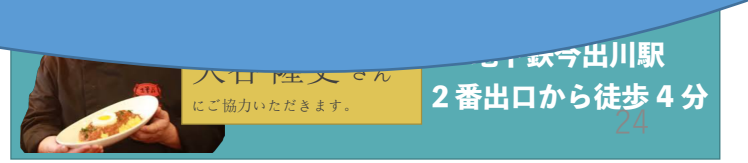
プレイベント



日本テレビ
“The social”
で紹介され
来春3月
内閣官房HPに掲載予定



特別養護老人ホーム寿幸苑
地域住民55名



社会的意義



アレンジによる

美味しさ に着目

～社会的背景～

非常食を美味しくないまま食べるうちに買わなくなってしまった

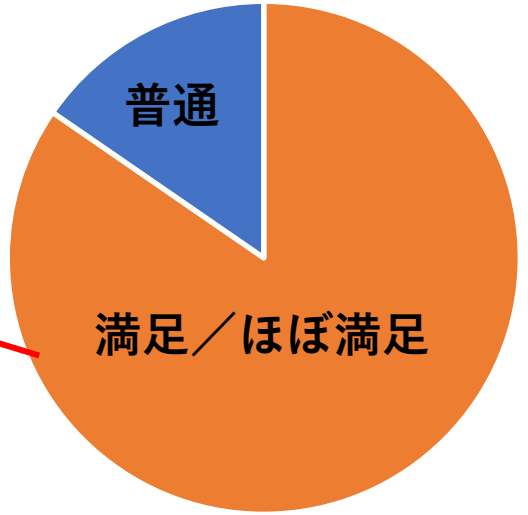
（日本テレビthe social より）


BIG LUNCH

アンケート結果(1)

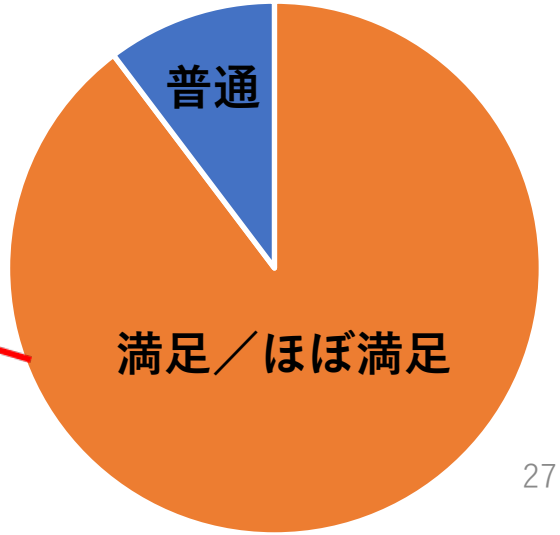
美味しい

84.6%



楽しい

89.7%



アンケート結果(2)

コミュニティの活性化

Q.このイベントで
地域のつながりが深まったと思うか？

はい 82.3%

問題意識 | 現状分析 | プレイベント | 展望

ビッグランチの効果

美味しさ

楽しさ

地域のつながりが強まる

証明された！



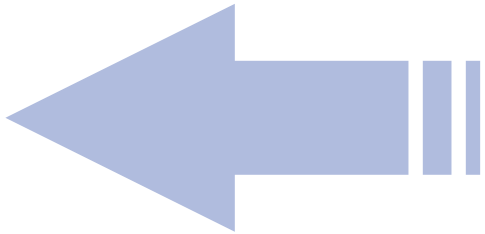
政策提言

誘導策：モデル地区認定制度

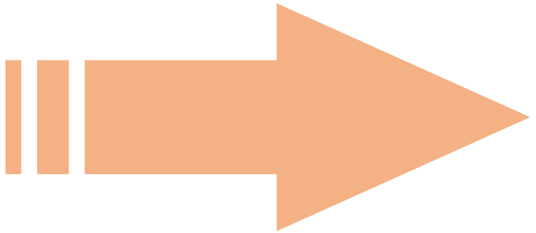
モデル地区認定制度： 自主的に循環型コミュニティ備蓄の実施を申し出た地区に対して市が支援する制度

京都市 CITY OF KYOTO

① **自主的に申請**

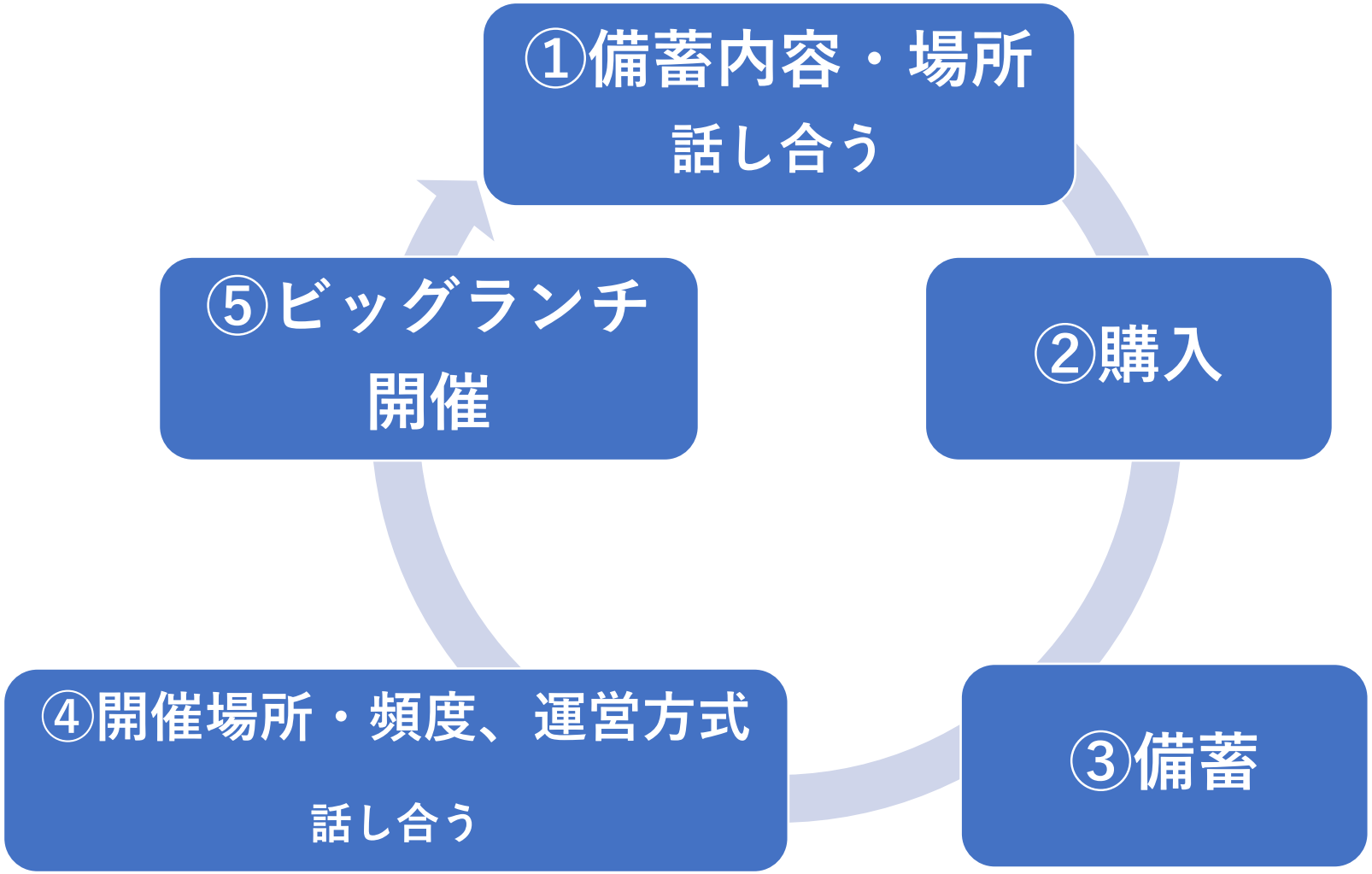


コミュニティ



② **認定・支援**

住民主体で行う循環型コミュニティ備蓄



市の支援

モデル地区に申請するコミュニティの増加のため行う。



初期費用

最初の備蓄にかける費用を支援



備蓄場所の提供

全住民から近い場所に保管するための支援

市の支援

- ホームページ作成

非常食をつかった**アレンジレシピ**

各地域のビッグランチの様子を

ホームページで更新共有



展望

全国へ

循環型コミュニティ備蓄を全国へ

備蓄

防災意識の向上

消費

地域コミュニティ活性化

安心・安全で住みやすい日本へ

参考文献

- 生田長人(2010.3.31)「防災と法の仕組み」71-72、東信堂
- 京都市総合企画局市長公室広報担当(2019)「平成30年度 第2回市政総合アンケート報告書 災害に備えた家庭での備蓄について」(2019年10月29日閲覧. https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmsfiles/contents/0000247/247415/hokokusyo.pdf)
- Eden Project 「The Big Impact」(2019年10月29日閲覧. https://www.edenprojectcommunities.com/the-big-impact)
- 京都市(2019)「京都市備蓄計画」(2019年10月28日閲覧. http://www.bousai-kyoto-city.jp/bousai/pdf/bitiku_plan.pdf)
- 東京都環境局(2018)「防災備蓄食品の有効利用について」(2019年10月27日閲覧. http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/resource/recycle/tokyo_torikumi/torikumi/cat.html)